

令和4年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科総合型選抜  
表現領域受験（音楽受験）筆記試験  
『出題の意図・評価ポイント』

音楽に関する基礎的知識及び音楽文化全般に対する関心の深さと理解力を問う検査

※1 この『解答例』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和4年度神戸大学 学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

【問題Ⅰ】 配布した楽譜について以下の問いに答えなさい。

問 1. 楽譜内の 1-6 までの音程を答えなさい。複音程は単純音程に直すこと。

【出題意図】 長・短・増・減・複音程、単音程などについて理解しているか。

問 2. この作品は、19 世紀後半のスペインを舞台にロマの恋とその悲劇を扱った作品の中のアリアを器楽曲に編曲したものである。作曲者名と作品名を答えなさい。

【出題意図】 読譜ができるか。音楽史のなかでも有名な作品について知識があるか。

【問題Ⅱ】 音楽に関連する以下の語句について、説明しなさい。

【出題意図】 日本の伝統音楽や諸民族の音楽を含む、様々な音楽ジャンルや種目、音楽史、楽器などについて基本用語を理解しているか。

【問題Ⅲ】 配布された文章(4 枚)は、《四分三三秒》というジョン・ケージの作品を通して、「自然」と「芸術作品」の意味について、考察したものである。傍線部[A]「『自然』と『作品』の境界上にある」とは、どのようなことを意味するのかを踏まえ、著者がなぜ傍線部[B]「ケージがいやおうなしに典型的な『近代の芸術家』であった」と表現したのか、著者の意見を踏まえた上で、あなたの考えを 800 字以内で書きなさい。

【出題意図】 音楽芸術ならではの特徴を思考した文章を読解し、理解できるかどうか。音楽研究が音楽だけの研究で成り立っているわけではないことを理解できるかどうか。身の回りにある音と音楽芸術との関係性について思考した文章を読解、理解できるかどうか。発達コミュニティ学科で音楽をテーマとして学ぶことの意味についてどのように考えているか。